

しろうず



学校だより
令和5年度 No.5
令和5年8月25日(金)
コミュニティ・スクール
春日市立白水小学校
児童数 423名

〔白水小学校 めざす子どもの姿〕

① しっかり考え、学びを深める子
② うんどうで体をきたえる子

③ こころをつなぎ、協力し合う子
④ すっと地域を大切にする子

充実した学校生活にするために

長かった夏休みが終わり、今日から前期後半が始まりました。夏休み中、大きな事故もなく、子どもたちが元気に登校できたことを、大変嬉しく思っています。しかし、本校では夏休み期間も、新型コロナウイルスへの感染報告は届いていました。前期後半も感染防止対策を行いながら、充実した教育活動を進めていきたいと思えます。また、後期前半には、運動会や異学年チームウォークラリー等、多くの行事が予定されています。行事は子どもたちに責任感や達成感を味わわせることのできる大変有意義な教育活動です。内容や方法を工夫しながら実施することで、学校生活を充実させていきます。

子どもたち一人一人が目標をもち、充実した学校生活を過ごすことができるよう、白水小学校チームとして、職員一丸となって指導にあたっていきます。保護者、地域の皆様には、今まで同様、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

9月の参観へのご出席をお待ちしています

第3回学習参観を、感染防止対策を行いながら下記の通り実施いたします。ご多用の中だとは思いますが、ご出席をお願いいたします。

- 1 期日 令和5年9月12日(火)
- 2 会場 各教室

※4年生は、規範意識育成事業「インターネットの適正利用」の講話を受けるため、レインボーホールで実施します。

- 3 日程

全学年	
参観	14:40~15:25
児童下校	15:30



○教室内、廊下、ベランダよりご参観ください。

○参観にあたっては、保護者様の間隔をとっていただき、フィジカルディスタンスを保って、静粛に参観していただきますようお願いいたします。

○参観時のマスク着用は求めておりません。

○子どもたちの下校時の安全確保のため、自動車での来校はご遠慮ください。徒歩か自転車で来校していただくようお願いいたします。自転車の駐輪場は、来賓駐車場付近です。

○カメラやスマートフォンによる撮影は、ご遠慮ください。

ゲーム障害から子どもを守りましょう

現在、世界的に問題になっている『ゲーム障害』という言葉を知っていますか？



『ゲーム障害』とは、ゲームに熱中し、利用時間などを自分でコントロールできなくなり、日常生活に支障が出る病気です。WHO（世界保健機構）は、2019年5月に新たな病気として国際疾病分類に加えしました。厚生労働省の調査では、ネット依存の人のうち、約90%が『ゲーム障害』であるという結果も出ています。

子どもの『ゲーム障害』を予防する方法としては、まず有効なのがゲームを始める年齢を遅くすることです。すでにゲームを始めている場合（最近の小学生はほぼこれに該当すると思えます）は、1日の中でゲームをしてもよい時間やゲームの時間帯・場所を明確に決めることが有効です。その際、紙に書いて部屋に貼っておくこと、子どもの意向も取り入れることが大切です。また、ゲーム以外のリアルの生活を充実させることでも、『ゲーム障害』を予防できると言われています。

何より、ゲームをするルールについて親子で話し合ったり、ゲーム以外に子どもの興味や好奇心を向けさせたり、家族で会話をする時間を増やしたりすることが大切です。

【NHK「健康チャンネル」参照】

家庭における見守りのお願い

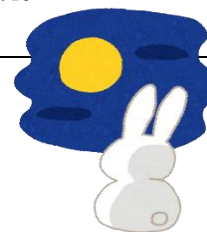
長期休業期間中やその前後は、子どもたちの希望がふくらむと同時に、心が不安定になる時期でもあります。学校では、いじめや不登校の未然防止、早期発見・解消に取り組むと同時に、学級活動や道徳の時間を通じて、子どもたちの心に寄り添う活動を設定しています。

ご家庭でも、お子様の様子を見守っていただき、心配なことがございましたら、学校や裏面の相談窓口までご連絡いただくようお願いいたします。裏面の福岡県教育委員会が不登校対策強化事業として作成したリーフレット「保護者のアクション3」には、家庭で気を付ける未然防止のアクションや、早期発見・早期対応のアクションなど、家庭や学校が取り組むことについて書かれています。お子さんの変化に気付くための参考にしてください。



8月・9月の行事予定（現時点での予定ですので、変更の可能性もあります。）

8月	行事等	9月	行事等
25	金 全校朝の会（前期後半開始） 給食なし 下校 11:15	1	金 委員会活動 卒業アルバム写真撮影
		4	月 全校朝の会
28	月 給食なし 下校 12:05	6	水 就学時健康診断（新1年）
29	火 全校5校時 下校 14:40	8	金 代表委員会
30	水 全校5校時 下校 14:40	12	火 参観 学校運営協議会 規範意識育成事業
31	木 全校5校時 下校 14:40 睡眠に関する学習	13	水 西中職場体験1日目（西中生10名）
		14	木 西中職場体験2日目（西中生10名）
		15	金 クラブ活動
		20	水 お話クローバーお話し会（昼休み）
		21	木 スクールカウンセラー上野先生来校
		26	火 学校保健安全委員会



一緒に取り組もう!!

不登校の未然防止と 支援のための家庭の取組

保護者の

ACTION3!!

アクション3



福岡県の不登校は増加傾向にあります!

本県では、不登校児童生徒数は増加傾向にあります。
令和3年度は、12,000人を超え、過去最多となりました。



不登校はどの子供にも起こりうる!!

不登校は、その要因・背景に、学校、家庭、そして社会の様々な問題が複雑に絡みあっており、

特定の子供に特有の問題があることによって起こるのではなく、どの子供にも起こる可能性があります。

不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味をもつことがある一方で、学習の遅れ等や社会的自立へのリスクが存在します。



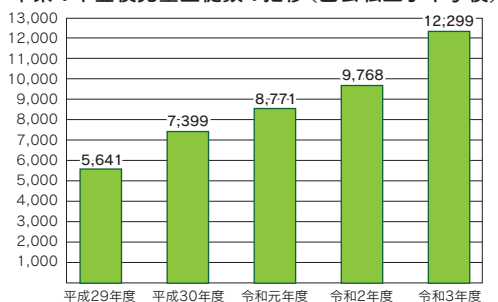
家庭と学校が協力した支援を進めるために!!

子供のために家庭と学校等が協力し合うことが大切です。登校しぶりがある等、兆候に気付いた段階で学校へ気軽に相談しましょう。

また、**学校ではスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった専門的な知識を有するスタッフと相談することができます。**担任や教育相談担当者等を通じて相談を申し込むことができます。

さらに、欠席が続くようであれば、最寄りの**教育支援センター(適応指導教室)**等に相談することも有効です。学校や市町村(学校組合)教育委員会を通じて相談を申し込むことができます。

本県の不登校児童生徒数の推移(国公立小中学校)



不登校の定義

不登校とは、年間30日以上欠席の児童生徒のうち、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくもできない状況にあること(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く)」をいいます。

「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より

スクールカウンセラーとは…

臨床心理の高度な専門性を有する「心の専門家」です。子供や保護者との相談活動を行います。

スクールソーシャルワーカーとは…

社会福祉士等の「福祉の専門家」です。福祉機関等と協力して子供たちを支援します。

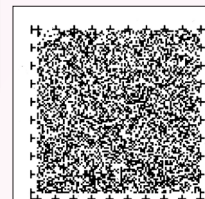
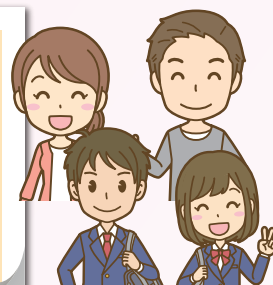
教育支援センター(適応指導教室)とは…

不登校児童生徒が社会的に自立できるように学習や集団への適応等の相談・指導等を行う教育委員会が設置している施設です。

不登校への取組は、**新たな不登校を生まないための取組と不登校になった児童生徒への支援の両方が大切です。**

生活や学びの場である家庭・学校を魅力あるものとし不登校を未然に防ぐ努力を徹底しながら、不登校の前兆を示すなど初期の段階にある子供の変化に気づき、早期の対応を迅速かつ的確に行うことが重要であり、これには**家庭の協力がより一層必要**です。

そこで、家庭で具体的にどのように取り組んでいけばよいかをまとめたものが、「**保護者のアクション3**」です(裏面参照)。ぜひ、学校と協力して、一緒に取り組みましょう。



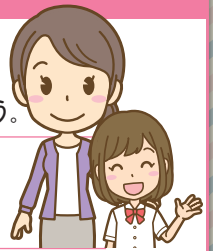
不登校の未然防止と支援のための家庭の取組!!

保護者の
ACTION3!!
アクション3!!

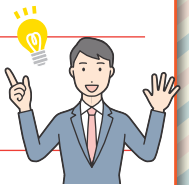


家族みんなで、取り組みましょう!

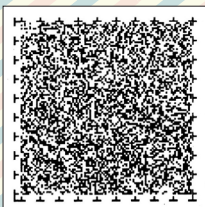
ステージ1	未然防止のアクション
アクション1 習 慣	<input type="checkbox"/> 早寝・早起きを励行し、顔を見ながら挨拶をしましょう。 <input type="checkbox"/> しっかり食事を取らせましょう。 <input type="checkbox"/> 1日のうち、決まった時間に机に向かうことを習慣づけましょう。
アクション2 人間関係	<input type="checkbox"/> 毎日、少しの時間でも、子供と話をしましょう。 <input type="checkbox"/> 子供に、人間関係をつくる経験を積みませましょう。 <input type="checkbox"/> 地域の大人として、地域の子供と挨拶を交わしましょう。
アクション3 自尊感情	<input type="checkbox"/> 機会あるごとに「あなたは大切な存在である」ことを伝えましょう。 <input type="checkbox"/> 学習に対する努力の姿勢や過程を認め、褒めましょう。 <input type="checkbox"/> 家庭で役割を持たせ、家族に貢献できていることを実感させましょう。



ステージ2	早期発見・早期対応のアクション
アクション1 早期発見	<input type="checkbox"/> 遅刻や欠席日数(月に3日の欠席)に敏感になりましょう。 <input type="checkbox"/> 子供の友達関係、遊び、持ち物、服装などに気を配りましょう。 <input type="checkbox"/> ゲーム・携帯・スマホなどの利用状況を把握しましょう。
アクション2 早期対応	<input type="checkbox"/> 子供が不調を訴えたら「心配している気持ち」を伝えましょう。 <input type="checkbox"/> 子供の生活リズムに気を配り、規則正しい生活をさせましょう。 <input type="checkbox"/> 子供が不安や悩みを抱えていないかさりげなく話をしましょう。
アクション3 学 校	<input type="checkbox"/> 日頃から学校の通信等にしっかり目を通しましょう。 <input type="checkbox"/> 何かあったときだけでなく、日頃から担任と連絡をとりあいましょ。 <input type="checkbox"/> 気になることがあったら、直ちに家庭の様子を学校に伝えましょ。



ステージ3	不登校になった場合のアクション
アクション1 受 容	<input type="checkbox"/> 子供とじっくり話し、最後まで聴きましょう。 <input type="checkbox"/> 期待しすぎず、子供の小さな変化を探し、褒めましょ。 <input type="checkbox"/> 子供の気持ちを否定せず、まず安心させましょ。
アクション2 支 援	<input type="checkbox"/> 本人の好きなこと、得意なことから少しずつかわりましょ。 <input type="checkbox"/> 焦って解決しようとせず、今できることから始めましょ。 <input type="checkbox"/> 欠席した日でも規則正しい生活をさせましょ。
アクション3 連 携	<input type="checkbox"/> 1人で抱え込まず、家族をはじめ周りの人に協力を求めましょ。 <input type="checkbox"/> 継続的に学校と連絡を取り、必要な情報を学校に伝えましょ。 <input type="checkbox"/> スクールカウンセラーなどの専門家や教育支援センター等の関係機関に積極的に相談ましょ。



相談窓口紹介

匿名でも相談できます。
秘密は守られます。

家庭で取り組んでいて、
迷ったとき、困ったときには
相談ましょ!

子どもホットライン24
(24時間対応)

福岡地区 092-641-9999
北九州地区 0949-24-3344
北筑後地区 0942-32-3000
南筑後地区 0942-52-4949
筑豊地区 0948-25-3434
京築地区 0979-82-4444

メールでの相談の場合(各地区共通)
hotline24@pref.fukuoka.lg.jp

福岡市子ども総合相談センター
(年末年始を除く24時間対応)

092-833-3000

北九州市子ども相談ホットライン
(24時間対応)

093-881-4152

少年サポートセンター

(祝日・年末年始を除く
月～金曜日 9:00～17:45対応)

ハートケア中央 092-588-7830
ハートケア北九州 093-881-7830
ハートケアくるめ 0942-30-7867
ハートケアふくおか 092-841-7830
ハートケアいづか 0948-21-3751